

カラービデオ受像機

品番 WV-CM143

取扱説明書

この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。



保証書別添

上手に使うと上手に節電

このたびは、パナソニック カラービデオ受像機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

目次

安全上のご注意	2~6
取扱説明	
特長	6
各部の名前と働き	7~9
操作のしかた	10~11
上手な使いかた	11~13
設定のしかた	14~21
別売品のご紹介	22
故障と思われましたら	22
工事説明	
接続の前に	23
接続のしかた	23~26
システム接続例	27~29
定格	裏表紙
アフターサービスについて	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

工事は販売店に
依頼する



技術と経験が必要です。感電の原因となります。

異常なときは、すぐに
使用をやめる



煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したときは火災や感電の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、
改造しない



分解禁止

内部に高電圧の部分があります。感電の原因となります。

ヒューズの交換、修理や点検はご販売店に相談ください。

警告

後面パネルを
外さない



高圧注意

内部に高電圧の
部分があります。
触ると感電の原
因となります。

内部の修理や点検は販売店
にご相談ください。

重量に耐える場所に
取り付ける



禁止

落下や転倒など
で、けがの原因
となります。

取付場所を補強してくださ
い。

水を入れない、
漏らさない



禁止

火災や感電の原
因となります。

水などが内部に入ったら、電源プラグ
を抜き、販売店にご相談ください。

上や近くに水の入った
物を置かない



禁止

こぼれた水が機
器内に入ると、
火災や感電の原
因となります。

すぐに電源プラグを抜いて、
販売店にご相談ください。

電源コードを
加工しない



禁止

電源コードが傷
つき、火災や感
電の原因となり
ます。

電源コードは、必ず
プラグ本体を持って抜く



電源コードを引
っ張るとコード
が傷つき、火災
や感電の原因と
なります。

濡れた手で、電源プラ
グを抜き差ししない



禁止

感電の原因とな
ります。

乾いた布で、手を拭いてく
ださい。

電源コードに重い物をのせな
い、熱器具に近づけない



禁止

電源コードが傷
つき、火災や感
電の原因となり
ます。

異物を入れない



禁止

火災や感電の原
因となります。

異物などが内部に入ったら電源プラグ
を抜き、販売店にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

10度以上の傾斜のある
場所には設置しない



落下などで、けがの原因となります。

禁止

傾斜のある場所に設置する
ときは、滑りどめをする



落下などで、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い
場所に設置しない



火災や感電の原因となります。

禁止

放熱口をふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

落とさない、強い衝撃
を与えない



けがや火災の原因となります。

禁止

販売店にご連絡ください。

可燃性雰囲気中で
使用しない



爆発し、けがの原因となります。

禁止

踏み台や腰掛けに
しない



けがの原因となります。

禁止

持ち運ぶときはコード
類をすべて抜く



コード類に足をかけ、転倒・けがの原因となります。

お手入れのときは
電源を切る



感電の原因となります。

設置場所について

⚠ 警告、⚠ 注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

- 直射日光の当たる場所や、熱器具の近く、温風の吹き出し口に設置しないでください。
- 周囲温度は、-10 ~ +50、湿度は90%以下でお使いください。
- 車載用など振動の激しい場所には、設置しないでください。
- 本機を近接して設置する場合、15 cm以上離してください。相互に干渉しあい、画面に縞が入ることを防ぐためです。
- 収納台や棚におく場合、後面のコネクターやケーブルに無理な力がかからないように奥行きを十分とってください。また、上面、側面を壁面から5 cm以上離してください。
- 本機を上下に重ねて置かないでください。

雑音が入るときは

カメラケーブルの配線の近くに、電灯線があったり、インターホンがビデオ受像機の近くにあると、映像やインターホンに雑音が入る場合があります。そのときは配線や位置をかえてください。

電波障害についてのご注意

テレビやラジオの送信アンテナ、モータやトランスなど強い電界、磁界の近くでお使いになると、影響を受けて雑音が入ったり、映像が曲がったりすることがあります。このような場合はカメラケーブルを専用の薄網電線管を設けて通線してください。もし2台以上のビデオ受像機をお使いのときは、ビデオ受像機ごとに電線管を設けてください。

静電気について

ブラウン管の表面に手を触れると、ごく弱い電気を感じることがあります。これは、静電気を帯びているためです。異常ではありません。

お手入れについて

お願い

- お手入れは、安全のため差し込みプラグをコンセントから抜いて、行ってください。感電の原因となることがあります。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変形したり、変色したりすることがあります。

日常のお手入れ

- 乾いた布で拭いてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

汚れがひどいとき

- うすめた台所用洗剤をやわらかい布にしみこませ、よくしぼり、軽く拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。

調整つまみについて

以下に示す調整つまみは、あらかじめ工場出荷時に調整されています。
調整が必要な場合は、販売店にご相談ください。

前面パネル内

色合い微調整ボリューム
色の濃さ微調整ボリューム
明るさ微調整ボリューム
コントラスト微調整ボリューム

後面

スクリーンコントロール

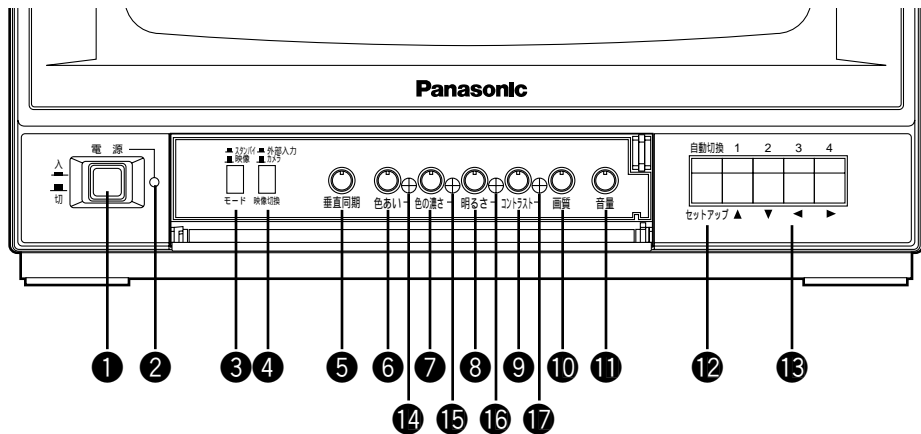
特長

本機は、カラーテルックカメラ用の14形カラービデオ受像器です。カメラを4台まで接続できます。カメラ電源スイッチを「切」にすると、カメラ入力1に、当社カラーシステムカメラ〔多重VD(VD2)同期付き〕を接続することもできます。

- 別売りのカメラ増設アダプター（WV-AD110）を使用することにより、さらにカメラを増設することができます。
- 各テレビカメラの画像を手動または自動（設定メニューで約1秒～30秒までの間で選択可能）で切り換えることができます。
- インターホンやセンサーからの信号で画面を切り換えることができます。
- センサー入力後、約60秒で、自動切り換えモードに自動復帰します。（設定メニューの自動復帰「入」状態の時）
- VTRと接続でき、ビデオモニターとして使用できます。
- 映像スタンバイ機能により、画像を消しておくこともできます。
- 接続されていないカメラをスキップ（飛びこし）するオートスキップ回路が内蔵されています。
- 増設のビデオ受像器やシーケンシャルスイッチャーとの画面の自動切り換えのタイミングを合わせることができます。
- 映像出力端子付きのため、他のビデオ受像器を接続できます。
- マイクロホン付カメラを接続することにより、カメラ付近の音を聞くことができます。
- 設定メニュー（オンスクリーン）で以下の項目を設定できます。
 - ・カメラIDの表示/非表示
 - ・カメラIDの設定
 - ・音声切り換えの選択
 - ・切り換えタイミングの選択
 - ・自動切り換え時間の選択
 - ・アラーム音の入り/切り
 - ・アラーム信号出力時間の選択
 - ・自動復帰の入り/切り
 - ・チャンネル別低輝度補償の設定

各部の名前と働き

前面



①電源スイッチ (切 ■ / 入 ■)

②電源表示 [電源] (赤色)

電源スイッチを「入」にすると赤色に点灯します。

③モード切り換えスイッチ [スタンバイ ■、映像 ■]

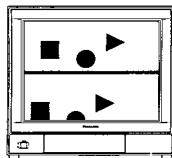
「スタンバイ」の位置にすると、自動切り換えしている画面を消しておくことができます。この状態でもカメラ選択スイッチを押せばカメラ画像を選択できます。再び画面を消すときは自動切り換えスイッチを押します。

④映像切り換えスイッチ [外部入力 ■、カメラ ■]

「カメラ」の位置にするとカメラ画像をモニターすることができます。また、「外部入力」の位置にするとVTR再生用モニターなどとして使用できます。

⑤垂直同期調整ボリューム [垂直同期]

画面の上部が二重に映ったり画面が流れたりするとき、左右に回して調整します。



⑥色あい調整ボリューム

肌色が紫色になるときは時計方向へ、肌色が緑色になるときは反時計方向へ回し、自然な色調が得られるように調整します。

⑦色の濃さ調節ボリューム

色がうすいときは時計方向へ、色が濃すぎるときは反時計方向へ回し、自然な色調が得られるように調整します。

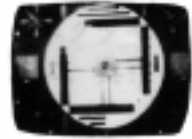
⑧明るさ調整ボリューム [明るさ]

画像が明るかったり暗かったりしたときに調節します。



⑨コントラスト調整ボリューム

[コントラスト]
画像の明暗比を調整します。



⑩画質調整ボリューム [画質]

時計方向に回すとシャープな画質に、反時計方向に回すとソフトな画質になります。

⑪音量調整ボリューム [音量]

時計方向に回すと音が大きくなります。適度な音量でお聞きください。

⑫自動切り換え / 設定スイッチ

[自動切り換え / セットアップ]

- カメラの画像が順次切り換えられます。
- このスイッチを2秒以上押しつづけると設定メニューが表示されます。(14ページ)
(映像切り換えスイッチがカメラのとき)

⑬カメラ選択 / 方向スイッチ [1/、2/、3/、4/]

- 手動でカメラを選択するときに使います。
- 設定メニューを表示したとき、設定項目を選択するときに使います。

⑭色あい微調整ボリューム

⑮色の濃さ微調整ボリューム

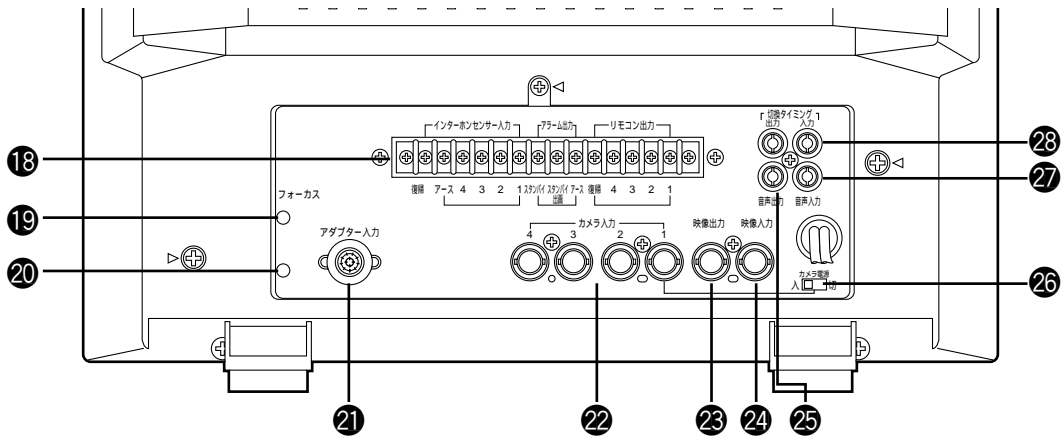
⑯明るさ微調整ボリューム

⑰コントラスト微調整ボリューム

⑭～⑰は出荷時にあらかじめ調整されています。

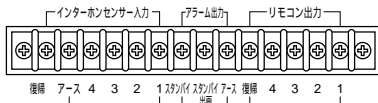
各部の名前と働き

後面



⑱外部制御接続端子〔インターホン／センサー入力、アラーム出力、リモコン出力〕

接続のしかたについては24～26ページをお読みください。



●インターホン／センサー入力

各カメラの選択が外部から制御できます。1、2、3、4のいずれかをアースと短絡することにより制御できます。

●アラーム出力

外部制御によりカメラを選択したときにアラーム信号（メイク接点）が外部に出ます。

(a)スタンバイ

映像スタンバイ時にのみアラーム信号が出ます。

(b)スタンバイ／出画

モード切り換えスイッチの位置にかかわらずアラーム信号が出ます。

●リモコン出力、復帰出力

外部制御、自動または手動によりカメラを選択したときにリモコン出力および復帰出力（メイク接点）が外部に出ます。

●復帰入力

タイムラプスVTRなどからの復帰信号により自動切り換えに戻ります。

⑲フォーカスコントロール〔フォーカス〕

画面のピントが合っていないときに調整します。

⑳スクリーンコントロール〔スクリーン〕

工場出荷時にあらかじめ調整されています。

㉑増設アダプター入力端子〔アダプター入力〕

テレビカメラを増設する場合接続します。別売のカメラ増設アダプター（WV-AD110）を1台使用することによりカメラを3台ずつ増設することができます。

㉒カメラ入力端子〔カメラ入力1、2、3、4〕

テレビカメラの入力端子です。カメラの電源などがこの端子からカメラへ送られ、映像信号がカメラからこの端子に入ります。カメラ入力1はカメラ電源スイッチで電源供給をOFFにすることもできます。

重要

カメラ入力1には、専用カラーテルックカメラ（22ページ）または、カラーシステムカメラ〔多重VD(VD2)同期付き 22ページ〕を接続できます。カラーシステムカメラを接続するときは、カメラ電源スイッチ㉑を「切」にしてから接続してください。カメラ入力2～3に専用カラーテルックカメラ以外のカメラを接続しても正常に動作しません。

⑳映像出力端子〔映像出力〕

ビデオ受像機を増設する場合接続します。ただし、この端子には映像スタンバイ時にも自動切り換えされた映像が出力されます。

㉑映像入力端子〔映像入力〕

VTRの映像出力を接続し、前面の映像切り換えスイッチ④を「外部入力」の位置にするとVTR再生画像が見られます。

㉒音声出力端子〔音声出力〕

マイクロホン付きのカメラの音をVTRに録音する場合、接続します。

㉓カメラ電源スイッチ〔カメラ電源〕

重要

カメラ電源スイッチは、必ずカメラを接続する前に設定してください。カメラを接続してから、このスイッチを操作すると故障の原因となります。

カメラ入力1に接続したカメラに電源を供給する「入」または供給しない「切」を選択します。

「入」：専用カラーテルックカメラを接続する

「切」：カラーシステムカメラを接続する

㉔音声入力端子〔音声入力〕

VTRの音声出力を接続し、前面の映像切り換えスイッチ④を「外部入力」の位置にすると、VTR再生音声を聞くことができます。

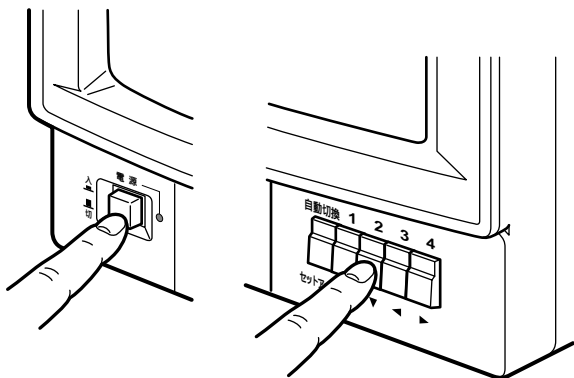
㉕切り換えタイミング入力／出力端子〔タイミング出力／入力〕

- ビデオ受像機を増設するときやタイムラプスVTRと組み合わせて使うときに接続します。
- 設定メニューで切り換えタイミングを内部／外部に選択できます。

操作のしかた

カメラを選択して見るとき

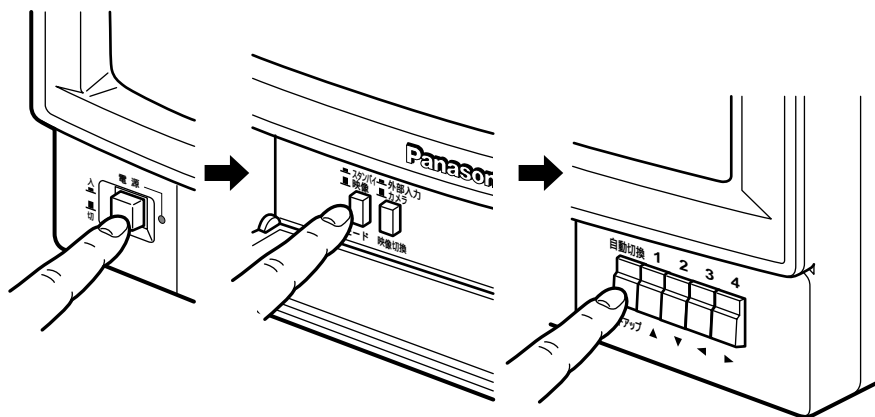
1. 電源を入れます。
2. カメラ選択スイッチを押します。



1. 電源を入れた後、数秒間は画像がなかったり、映像出力に正常な画像が出なかったりしますが故障ではありません。
2. 電源を入れると自動的に自動切り換えになります。
3. 自動切り換えをしているときも、カメラ選択スイッチを押せば望みのカメラを見ることができます。自動切り換えにするときは自動切り換えスイッチを押してください。
4. 映像スタンバイ（画面が消えている）になってもカメラ選択スイッチを押せば望みのカメラを見ることができます。

自動切り換えで見るとき（カメラが2台以上のときのみ）

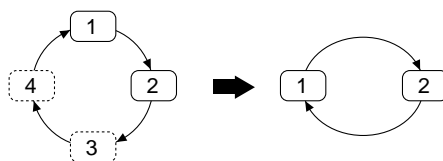
1. 電源を入れます。
2. モード切り換えスイッチを「映像」にします。
3. 自動切り換えスイッチを押します。



自動切り換え時間は設定メニューで選択できます。（20ページ）

スキップ機能

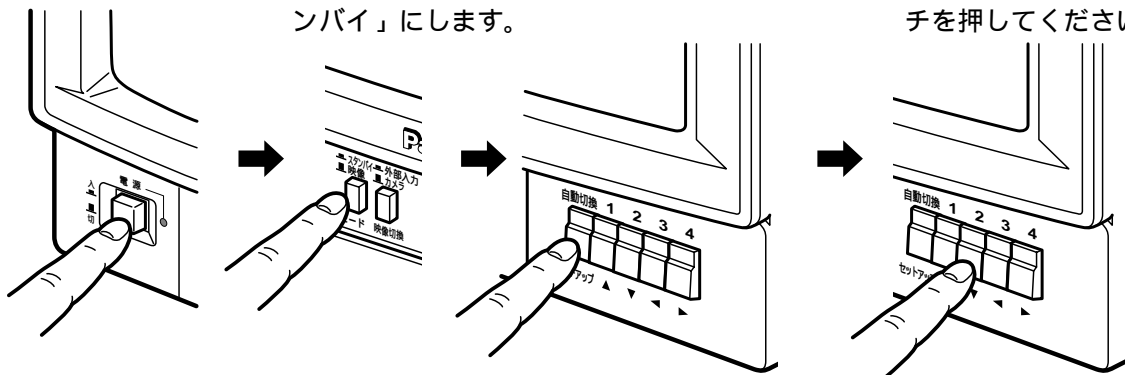
- カメラが2台または3台しか接続されていないときは、カメラが接続されていない入力を自動的にスキップ（飛びこし）し自動切り換えます。右図の場合カメラ3、4がスキップされます。（オートスキップ回路内蔵）



モード切り換えスイッチが映像の位置になっていないと映像は出ません。

画面を出さないでおい、必要なときにすぐ見たいとき（スタンバイ機能）

1. 電源を入れます。
2. モード切り換えスイッチを押して「スタンバイ」にします。
3. 自動切り換えスイッチを押します。
4. カメラ画像を見たいときはカメラ選択スイッチを押してください。



さらに、もう一度画面を消すときは、自動切り換えスイッチを押してください。

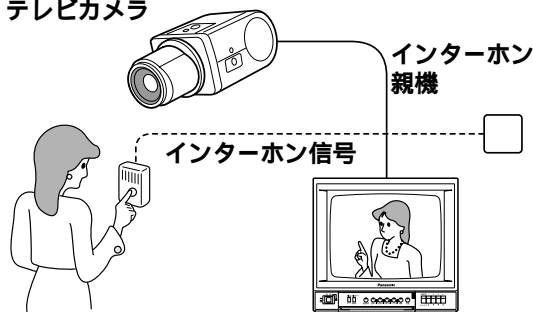
上手な使いかた

インターホンやセンサーと接続できます。

テルックシステムとインターホンなどを組み合わせて使いますと、インターホンの動作によりビデオ受像機の画面が切り換わります。

1. 2カ所から同時に信号が入ったときは、接続番号の若い方が優先します。
2. インターホンやセンサーによっては組み合わせのできない場合もあります。（詳しくは25、26ページを参照してください。）

テレビカメラ



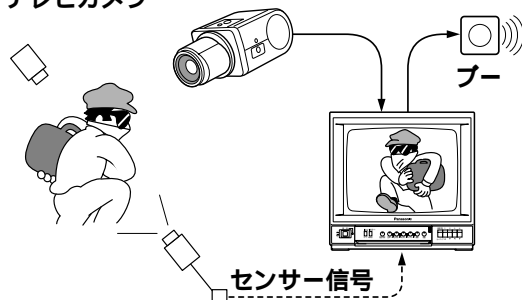
ブザーなどを接続すると外部から制御信号が入ったとき警報が出せます。

インターホンやセンサーと組み合わせて使ったとき、信号が入ると画面が切り換わりますが、このとき外部にアラーム信号（メイク接点）が出ます。この信号を使ってブザーなどを鳴らすことができます。

アラーム信号について

- アラーム信号端子は
 - (a)映像スタンバイ時のみ信号が出る端子
 - (b)スタンバイ、出画にかかわらず信号が出る端子の2種類があります。
- アラーム信号の出る時間は設定メニューで1、5、10、20、30、40、50、60秒のいずれかに選択できます（20ページ）。

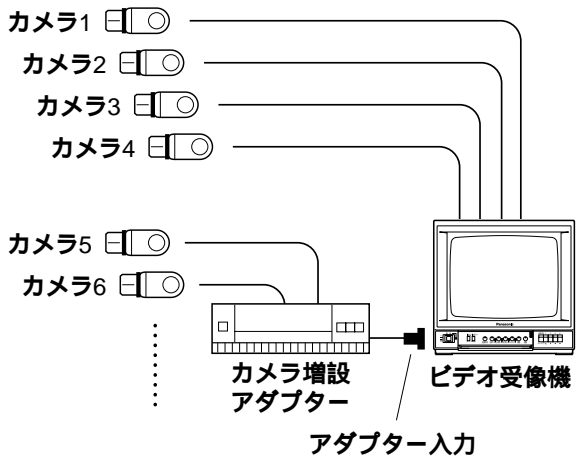
テレビカメラ



上手な使いかた

テレビカメラを5台以上使うとき

本機を使用したテルックシステムはカメラを4台まで接続できます。それ以上のカメラを使う場合はカメラ増設アダプターWV-AD110（別売）が必要です。

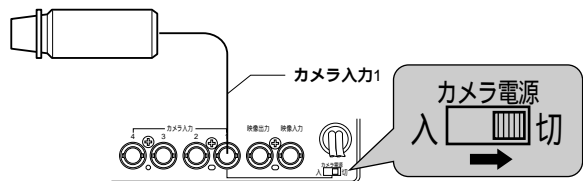


カラーシステムカメラを使うとき

重要

カメラ電源スイッチは、カメラを接続する前に設定してください。カメラを接続した後に設定すると故障の原因となります。

カメラ入力1には、カラーシステムカメラ（22ページ）を接続することができます。カラーシステムカメラを接続するときは、カメラ電源スイッチ②を「切」にしてから接続してください。

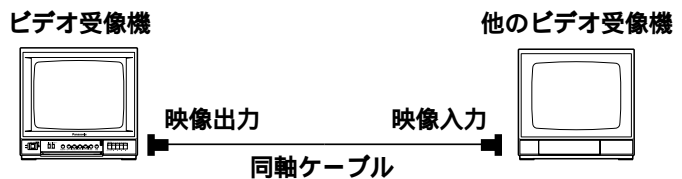


増設のビデオ受像機を接続できます。

他のビデオ受像機を接続できます。

本機には映像出力端子があります。他のビデオ受像機に接続して他の場所でモニターすることができます。

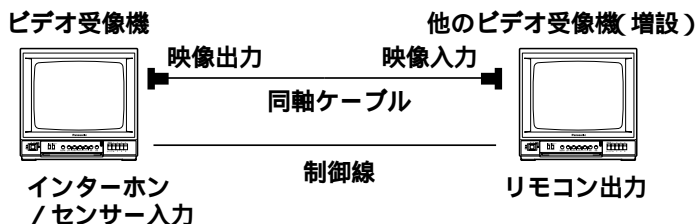
スタンバイ状態時も増設したビデオ受像機には、映像が表示されます。



ビデオ受像機を増設すると遠隔操作をすることができます。本機のインターホン/センサー入力端子に増設ビデオ受像機のリモコン出力を接続して他の場所で制御することができます。

重要

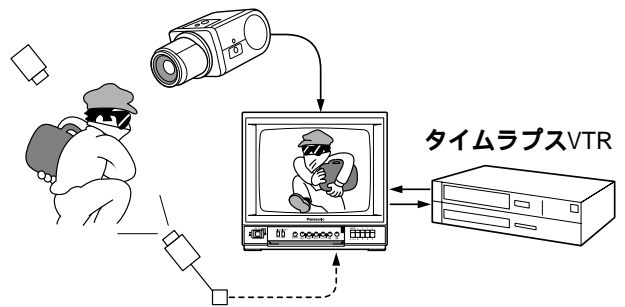
ビデオ受像機をさらに増設することはできません。（2台まで）



タイムラプスVTRに接続して監視システムが組めます

テルックシステムとタイムラプスVTRを組み合わせますとタイムラプスVTRの機能を有効に活用できます。

平常使用時はタイムラプスVTRは、480時間などの長時間録画状態になりますが、センサーなどから信号が入ると、タイムラプスVTRはアラーム状態になり、信号が入ったカメラの映像だけが録画されます。一定の時間がたつと、タイムラプスVTRは長時間録画の状態に戻ります。



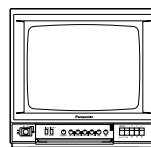
お願い

タイムラプスVTRに録画する場合、カメラ入力端子にカラーカメラと白黒カメラを同時に入力しないでください。同時に入力すると、VTR再生時に同期が乱れたりノイズが発生する場合があります。

VTRの再生画像を見ることができます。

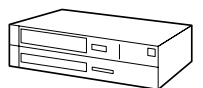
本機には映像入力端子があります。VTRの映像出力に接続して再生画像をモニターすることができます。映像切り換えスイッチを「外部入力」の位置にします。

ビデオ受像機



映像入力
映像出力
同軸ケーブル

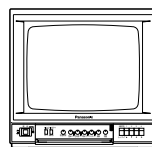
タイムラプスVTR



お願い

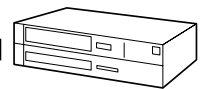
VTRの再生画像をモニターしているとき、映像出力にノイズが現われますので、このような使い方はさけてください。

ビデオ受像機

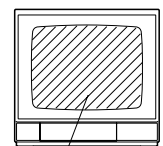


映像入力
映像出力
映像出力

タイムラプスVTR



他のビデオ受像機



ノイズ

設定のしかた

設定メニュー画面

カメラIDの表示 / 非表示 ⇨18ページ
カタカナ・英字・数字で最大8文字のカメラID(識別記号)を、画面に表示できます。

アラーム音の入り / 切り ⇨20ページ
本機にアラーム信号が入力されたとき、本機に内蔵されているブザーを鳴らすかどうか選択できます。

アラーム時間の選択 ⇨20ページ
アラーム信号を出力する時間を選択できます。

自動復帰の入り / 切りの設定 ⇨20ページ
本機にアラーム信号が入力されたとき自動的にアラーム信号入力前の状態に復帰するかどうか選択できます。

チャンネル別低輝度補償の設定 ⇨21ページ
自動切り換え時、チャンネルによって見やすい画面、見にくい画面があるとき、チャンネル別に低輝度部の輝度設定を変えることができます。

設定メニュー終了 ⇨16ページ
カーソルを移動し、設定スイッチを押すと設定メニューを終了し、映像画面に戻ります。

```
  **  SET  
  
CAMERA ID  
  
AUDIO SELECT  
TIMING SELEC  
SEQ TIME ADJ  
ALARM BUZZER  
ALARM TIME A  
AUTO RESET  
BRIGHT COMP  
END  SET UP
```

カメラIDの設定 ④18ページ

カタカナ・英字・数字で最大8文字のカメラIDを作成できます。

音声切り換えの選択 ④19ページ

カメラ音声を自動切り換え(シーケンス切り換え)または固定にできます。

切り換えタイミングの選択 ④19ページ

映像と音声を切り換えるタイミングを内部タイマーまたは外部からの切り換え信号いずれかに選択できます。

自動切り換え時間の選択 ④20ページ

映像切り換えスイッチ⑫で自動切り換えを選択しているとき、カメラ映像の切り換え時間を選択できます。

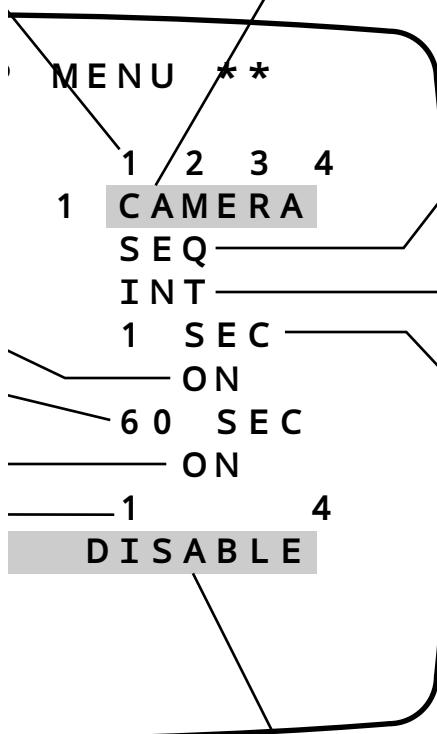
設定不可能(DISABLE) / 設定可能選択 ④16ページ

DISABLE : 設定不可能

ENABLE : 設定可能

重要

DISABLE(設定不可能)が表示されているときは、設定内容を変更できません。これは、誤操作によって設定内容を更新されるのを防ぐためです。



設定のしかた

設定手順

1. 工場出荷時の状態にリセットする

設定メニューに入る前に、必ず下記の手順に従って全ての項目を工場出荷時の設定に戻してください。

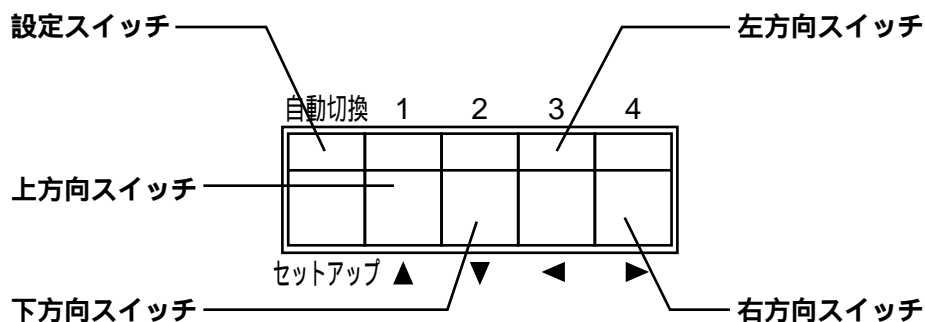
次のようにスイッチを設定し、設定メニューが表示されていないことを確認してください。

モード切り換えスイッチ：映像側

映像切り換えスイッチ：カメラ側

電源スイッチを「切り」にしてください。

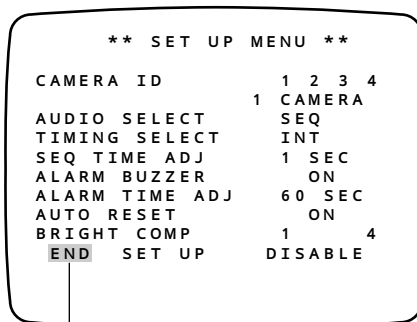
設定スイッチと右方向スイッチ(▶)を同時に押しながら、電源スイッチを「入り」にしてください。全ての項目が工場出荷時の設定にリセットされます。



2. 設定メニューに入る / 映像画面に戻る

- カメラ選択スイッチ(1～4いずれか)を押して、カメラが接続されているチャンネルに画面を固定してください。
- 設定スイッチを2秒以上押し続けると、設定メニューがオンスクリーンで表示され、設定内容を確認できます。
- 設定項目を変更する必要がない、または変更が終了したときはカーソルを“END”の位置に移動し、設定スイッチを押します。カメラ映像画面に戻ります。

設定メニュー



カーソル(点滅)

3. 設定メニューの実行

設定メニューを実行(設定内容の変更)するには、設定メニューを表示したあと上方向スイッチ()または下方向スイッチ()でカーソルを一番下の行に移動します。

次に、右方向スイッチ(▶)または左方向スイッチ(◀)でカーソルを“DISABLE”(設定不可能)の表示の上に移動します。

設定スイッチを押すと“ENABLE”(設定可能)の表示に変わり、設定内容を変更できるようになります。

“END”を経由して変更する項目の位置にカーソルを移動し、設定項目を変更します。

重要

データを更新してから(例：オンからオフ)カーソルを次の項目に移動すると、最後に入力したデータがメモリ(EEPROM)に書き込まれます。書き込まれたデータは、電源を切っても、次にデータが書き込まれるまで保存されます。

```
  ** SET UP MENU **
CAMERA ID          1 2 3 4
                   1 CAMERA
AUDIO SELECT       SEQ
TIMING SELECT      INT
SEQ TIME ADJ       1 SEC
ALARM BUZZER       ON
ALARM TIME ADJ     60 SEC
AUTO RESET         ON
BRIGHT COMP        1      4
END SET UP        DISABLE
```

設定スイッチを押す



```
  ** SET UP MENU **
CAMERA ID          1 2 3 4
                   1 CAMERA
AUDIO SELECT       SEQ
TIMING SELECT      INT
SEQ TIME ADJ       1 SEC
ALARM BUZZER       ON
ALARM TIME ADJ     60 SEC
AUTO RESET         ON
BRIGHT COMP        1      4
END SET UP        ENABLE ←
```

設定のしかた

設定手順

カメラIDの設定/表示/非表示(CAMERA ID)

カメラIDの表示/非表示

カーソルを“CAMERA ID”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)で設定するカメラを選びます。

設定スイッチで、ONとOFFを切り換えます。

ON : カメラID(1, 2, 3, 4)を表示

OFF : ●を表示

カメラIDの内容変更

カメラIDの内容変更は、2段目で行います。1段目で、設定するカメラを選択した後、下方向スイッチ()で2段目に移ります。

設定スイッチを押します。カメラIDの内容を変更できます。

上方向スイッチ()、下方向スイッチ()で文字の選択ができます。

また、左方向スイッチ(◀)、右方向スイッチ(▶)で文字の桁を変更できます。カメラIDで使用できる文字は下表のとおりです。

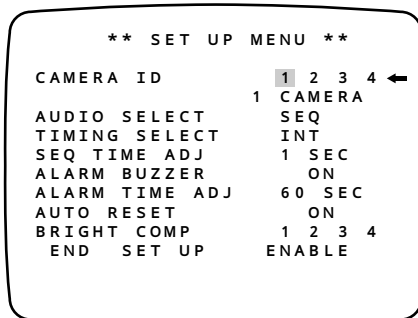
文字の設定が終了したら、設定スイッチを押します。

上方向スイッチ()で、1段目に移るとカメラIDが本体メモリに登録されます。

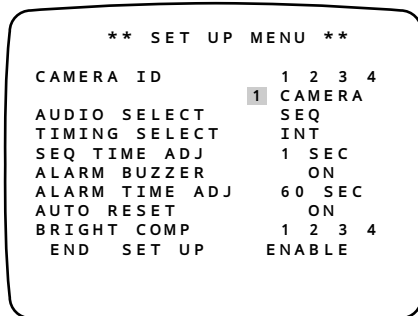
重要

1段目に移らずに他のカメラの設定を行うと、メモリに登録されません。

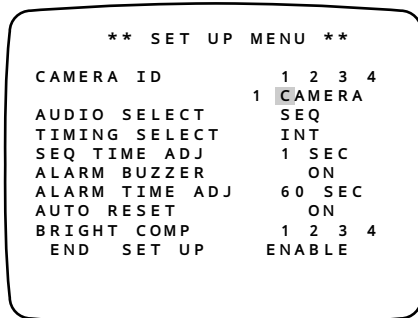
下方向スイッチ()	上方向スイッチ()
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : ; A B C	
D E F G H I J K L M N O P Q R	
S T U V W X Y Z アイウエオカキ	
クケコサシスセソタチツテトナニ	
ヌネノハヒフヘホマミムメモヤユ	
ヨラリルレロワランアイウエオツ	
ヤユヨ ° ` ” # ’ () * + , - .	
/ = ・(ブランク)	



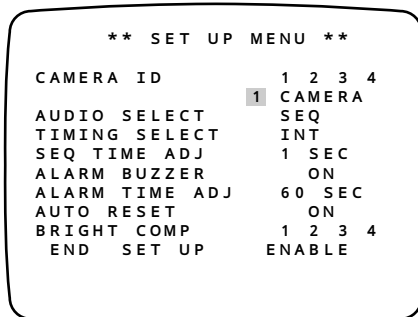
下方向スイッチを押す



設定スイッチを押す



文字設定終了後、設定スイッチを押す



音声切り換えの選択(AUDIO SELECT)

- カーソルを“ AUDIO SELECT ” の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)、右方向スイッチ(▶)で自動切り換え(SEQ)、固定(1,2,3,4)を切り換えます。
- 自動切り換え(SEQ)時は、映像の切り換えと合わせて音声も切り換わります。
- 固定(1,2,3,4)時は、設定されたチャンネルに音声固定されます。

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID          1 2 3 4
                   1 CAMERA
AUDIO SELECT       SEQ ←
TIMING SELECT      INT
SEQ TIME ADJ       1 SEC
ALARM BUZZER       ON
ALARM TIME ADJ     60 SEC
AUTO RESET         ON
BRIGHT COMP        1 2 3 4
END SET UP         ENABLE

```

切り換えタイミングの選択(TIMING SELECT)

カーソルを“ TIMING SELECT ” の位置に移動し左方向スイッチ(◀)、右方向スイッチ(▶)で切り換えタイミングを設定します。

INT : 内部タイミング

EXT : 外部タイミング (自動切り換えタイミングを他のビデオ受像機やタイムラプスVTRなどから入力する時には“ EXT ” にします)

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID          1 2 3 4
                   1 CAMERA
AUDIO SELECT       SEQ
TIMING SELECT      INT ←
SEQ TIME ADJ       1 SEC
ALARM BUZZER       ON
ALARM TIME ADJ     60 SEC
AUTO RESET         ON
BRIGHT COMP        1 2 3 4
END SET UP         ENABLE

```

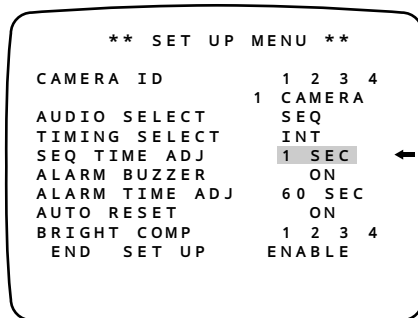
設定のしかた

設定手順

自動切り換え時間の選択(SEQ TIME ADJ)

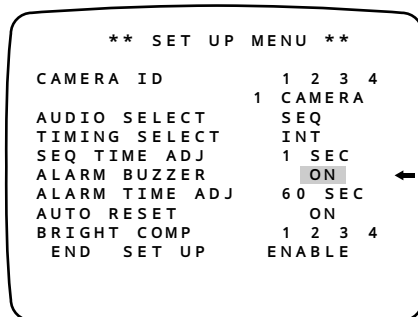
自動切り換え時、映像を切り換える時間を選択します。

- カーソルを“ SEQ TIME ADJ ”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)で切り換え時間を選択します。
- 切り換え時間は、約1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15,20,25,30秒から選択できます。



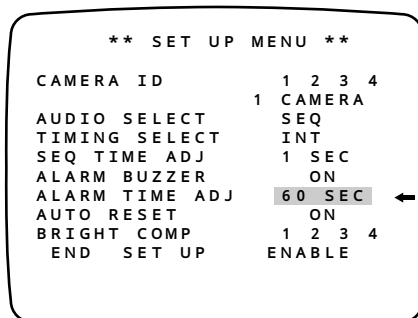
アラーム音の入り/切り(ALARM BUZZER)

- カーソルを“ ALARM BUZZER ”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)で入り(ON)、切り(OFF)を選択します。
- “ ON ”を選択するとアラーム動作になったとき、ブザー音を発します。またアラーム動作になってもブザー音を出さない場合は“ OFF ”を選択します。



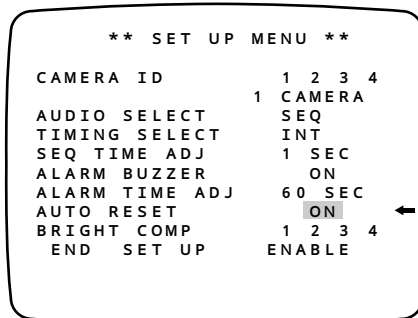
アラーム時間の選択(ALARM TIME ADJ)

- カーソルを“ ALARM TIME ADJ ”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)でアラームブザーの鳴る時間を選択します。
- アラーム時間は約1,5,10,20,30,40,50,60秒から選択できます。



自動復帰の入り/切り(AUTO RESET)

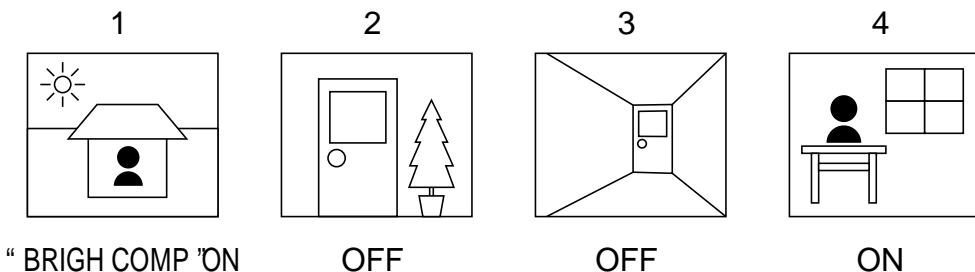
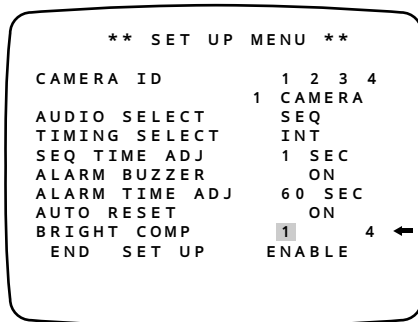
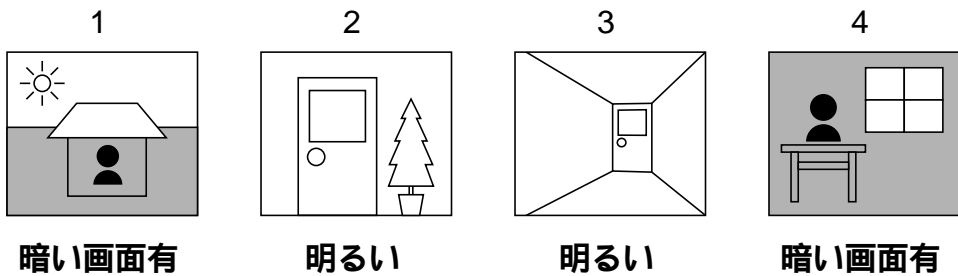
- カーソルを“ AUDIO RESET ”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)で入り(ON)、切り(OFF)を選択します。
- “ ON ”を選択すると、センサー入力後約60秒で自動切り換えに復帰します。



チャンネル別低輝度補償の設定(BRIGHT COMP)

自動切り換え時、チャンネルによって見やすい画面、見にくい画面がある場合、チャンネル別に低輝度部の輝度設定を変えることができます。

- カーソルを“ BRIGHT COMP ”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)で設定するカメラを選びます。また、設定スイッチで、低輝度補償ON(カメラID1,2,3,4表示)、OFF(● : 表示)を切り換えます。
- 自動切り換え時、暗い画面があるチャンネルの低輝度部分(暗い画面)のみ輝度を上げることができます。明るい画面、暗い画面が混在している時、この機能により画面の明るさを最適化することができます。



重要

この機能は自動切り換え時の画面を見やすくする為のものです。映像出力には、反映されません(低輝度補償OFFの映像が出力されています)。VTR等の再生画を確認するときは、前面の「明るさ調整ボリューム⑥」、「コントラスト調整ボリューム⑨」で調整してください。

別売品のご紹介

カメラ増設アダプター	WV-AD110
専用カラーテルックカメラ	WV-CP100
	WV-CP130
	WV-CF20
	WV-CF21
	WV-CF22
	WV-CF23
カラーシステムカメラ〔多重VD(VD2)同期付〕 ...	WV-CP410/414
	WV-CH804
	WV-CP610/614
	WV-CS600

故障と思われましたら

調べてもなお異常のあるときは電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

症 状	調 べ る と こ ろ
映像が出ない。	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ テレビカメラのレンズキャップをはずしていますか？ 同軸ケーブルは正しく接続されていますか？ 映像スタンバイスイッチがスタンバイになっていませんか？
	お願い：ビデオ受像機の電源が「入」のままテレビカメラを接続してもうつりません。電源を「切」にしてから接続してください。 ：電源を「切」にした後、再度電源を「入」にするときは、約3秒以上時間をおいてください。電源を「切」にした後すぐ「入」にするとカメラ映像が映らないことがあります。
自動切り換えができない。	インターホン/センサー入力の接続は正しいですか？ 切り換えタイミングの設定/接続は正しいですか？設定メニュー/接続のしかたを確認してください。

工事説明

本機の工事は、必ず販売店に依頼してください。
工事を始める前に、必ず2～6ページの「安全上のご注意」を読んでください。また、工事の場合は、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続の前に

インターホンやセンサーあるいはアラーム（警報）機器を接続する前に必ずインターホンなどの動作電圧、ACかDC、極性を確認してください。（25、26ページ参照）

接続のしかた

カメラの接続

同軸ケーブルで接続します。

同軸ケーブル	延長距離
3C-2V	約200 m以下
5C-2V	約500 m以下

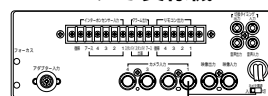
- 同軸ケーブルの抵抗値は、20 以下としてください。

テレビカメラ



同軸ケーブル

ビデオ受像機



カメラ入力 BNCプラグ
(カメラに付属)

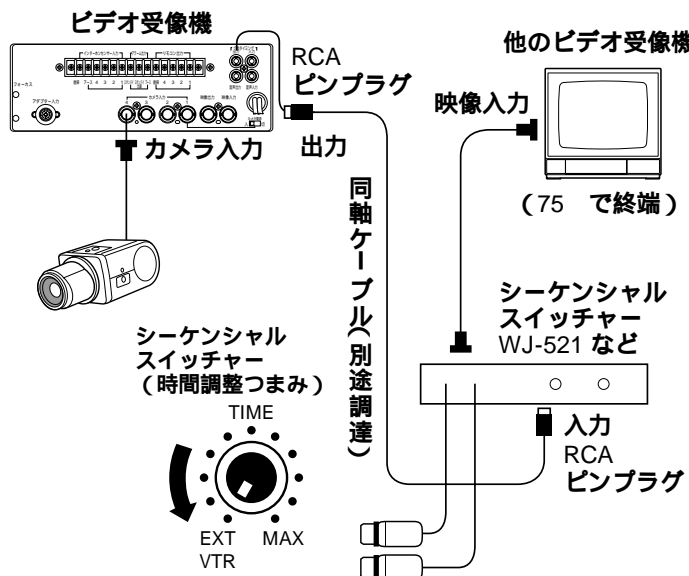
重要

1. カメラを接続するときは必ずビデオ受像機の電源を切ってから接続してください。電源を入れたままカメラを接続しても誤接続保護回路が働いてカメラは動作しません。
2. カメラはテルック専用カメラをお使いください。それ以外のカメラを接続しても正常には動作しません。
3. カラーシステムカメラは、カメラ入力1にだけ接続できます。

他のカメラシステムの組み合わせ

シーケンシャルスイッチャーを使ったカメラシステムと組み合わせで切り換えタイミングを合わせることができます。

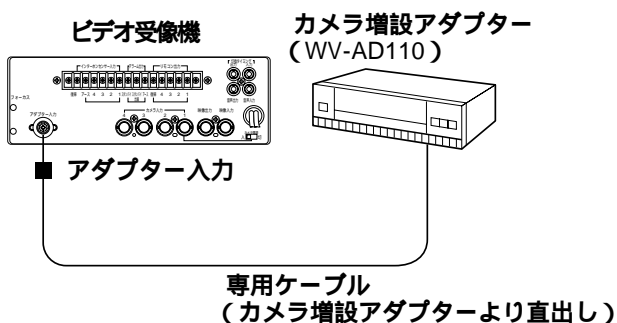
- 設定メニューでの設定
切り換えタイミング：内部（INT）に設定してください。
- シーケンシャルスイッチャー側の設定
シーケンシャルスイッチャーの時間調整つまみ [TIME] をEXT VTRの位置（反時計方向へカチッという音がするまで回す）に合わせてください。



接続のしかた

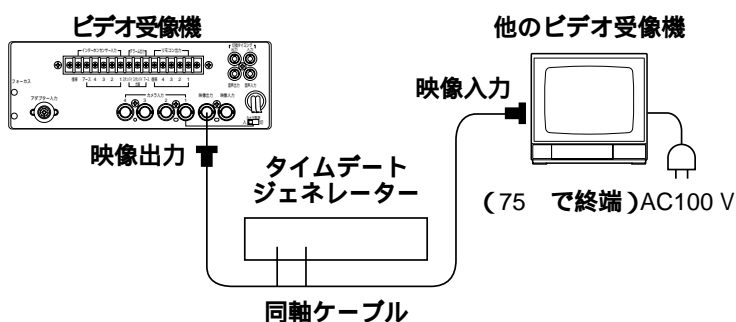
テレビカメラの増設

テレビカメラを増設するときは、別売のカメラ増設アダプタ (WV-AD110) を使って接続します。



増設のビデオ受像機の接続

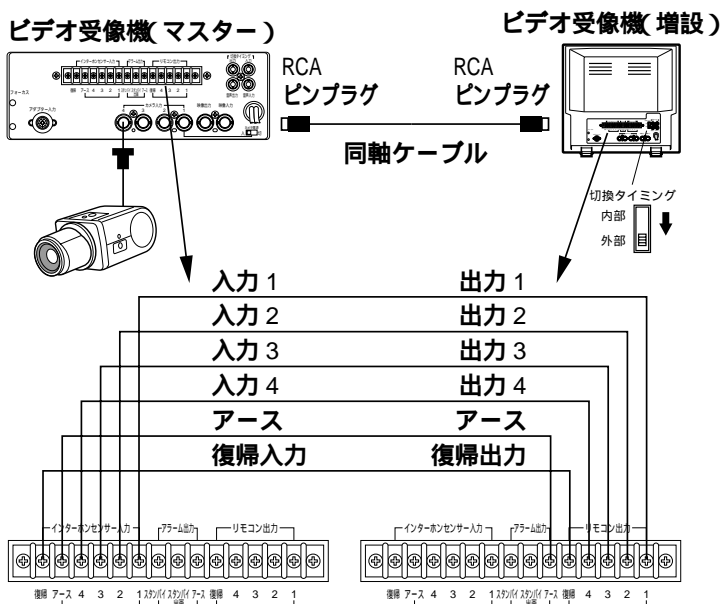
他の場所でモニターする場合
ビデオ受像機の映像出力を、同軸ケーブルで、増設する他のビデオ受像機の映像入力に接続します。
タイムデートジェネレータなどを途中に入れることもできます。



他の場所で遠隔操作する場合
ビデオ受像機を増設するときは増設用ビデオ受像機のリモコン出力と復帰出力をマスター側ビデオ受像機のインターホン/センサー入力と復帰入力に接続します。

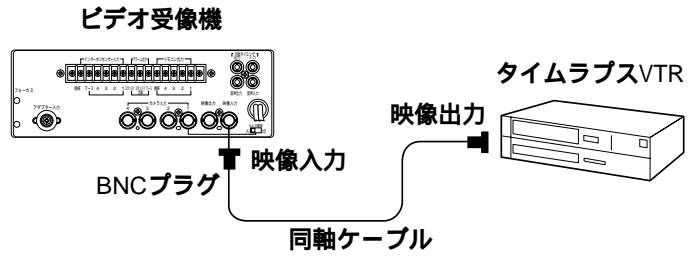
● 設定メニューでの設定

切り換えタイミング：内部 (INT) に設定してください。



再生用モニターとして使用するときの接続

VTRの映像出力を同軸ケーブルでビデオ受像機の映像入力に接続します。



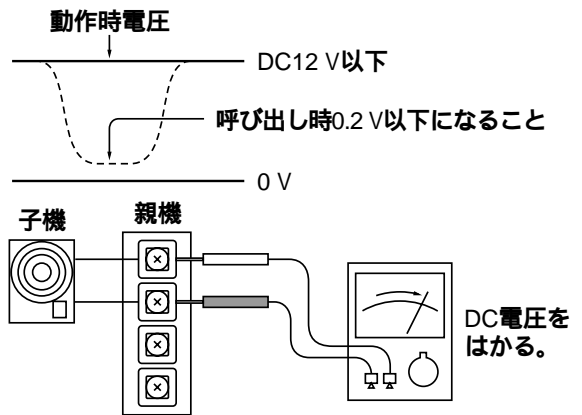
インターホンやセンサーとの接続

インターホンやセンサーの条件

接続できるインターホンやセンサーには条件があります。

1. 動作電圧がDC12V以下であること。
(AC電源で動作するものは使えません。)
2. インターホンの子機やセンサーが動作したとき子機とのラインの電圧が0~0.2Vになること。
3. 2線式のものに限りです。

具体的には、子機との接続端子をテスターで測定して電圧、極性をたしかめてから接続してください。



推奨インターホン（松下通信工業(株)通信システム事業部扱）

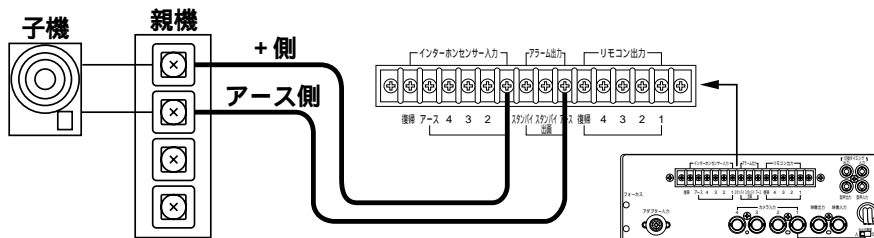
方式	子機	親機
ブレストーク式	VN-580A、588	VN-483A、485、482A
同時通話式	VL-568、568D	VL-467LK、468L その他電子チャイミーシリーズ 1-1タイプのみ
拡声形同時通話式	VK-507D	VK-411A、VK-413A

チャイム（松下電工製）

DCチャイムシリーズ
EB147シリーズ
EB157シリーズ

防犯ドアスイッチ
(松下電工製)
防犯ドアスイッチON
形シリーズ

接続のしかた



インターホンの親機とビデオ受像機間の接続は必ず極性を確かめてから行ってください。

接続のしかた

アラーム接続

本機には条件によって2つのアラーム出力端子があります。

1. 映像スタンバイ時に外部から信号が入ったとき動作する端子(スタンバイ)。
2. 映像スタンバイ時、出画にかかわらず、外部から信号が入ったとき動作する端子(スタンバイ出画)。

推奨チャイム(松下電工製)

電子チャイム

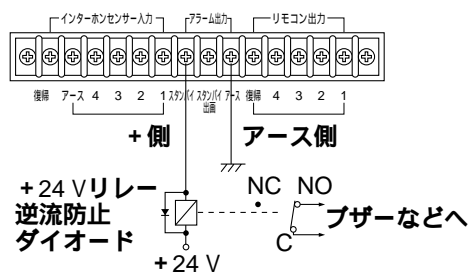
メロディサインEC5117(メロディ)

メロディサインEC5227(メロディ、
ピンポン)

メロディサインEC5347(メロディ、ピンポン、
ファミリー)

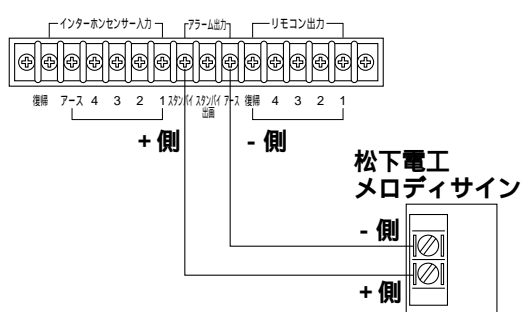
接続は下記のようにしてください。アラーム出力にも極性があります。極性を確認してください。アラーム出力の接点容量はDC24V 100mA以下です。

直接動作させられないとき
(動作が接点容量をこえるとき)



ブザーなどの起動スイッチに流れる電流がDC24V、100mAを超える場合はアラーム出力端子で直接動作させることはできません。リレーなどを使ってブザーを鳴らしてください。

直接動作させるとき
(接点容量内で動作するとき)



自動復帰について

本機にはインターホンやセンサーを入力後約60秒後で自動復帰する回路が内蔵されています。

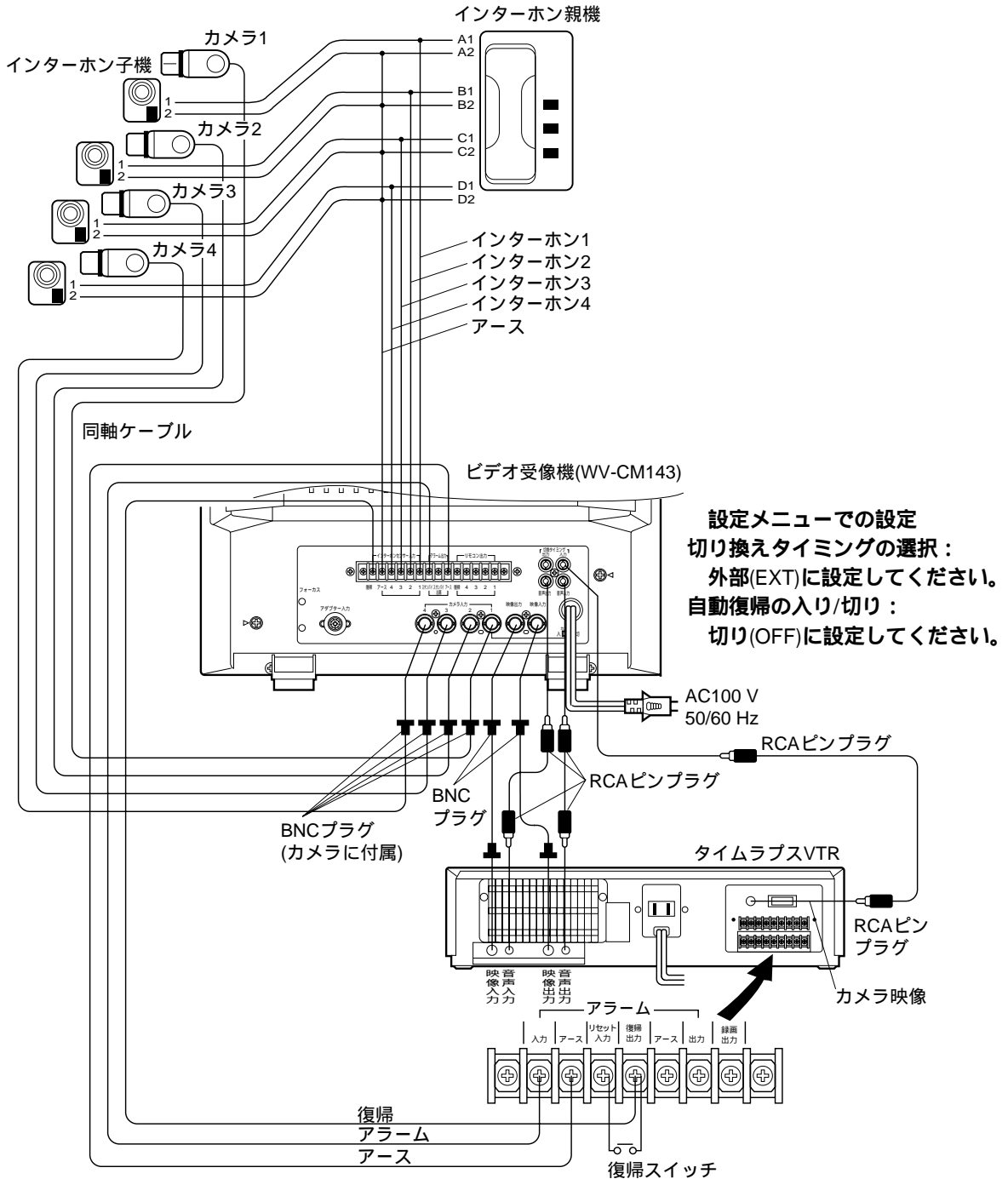
設定メニューの自動復帰入り/切り(AUTO RESET)を入り(ON)にします。

各入力での自動復帰の動作は次のようになります。

1. センサー使用のとき
 - ➡センサー入力によりカメラ選択し、約60秒後に自動切り換えに復帰します。
2. インターホン使用のとき
 - a. 通話中のとき
 - ➡インターホン入力によりカメラ選択し、通話中は保持され続けます。また通話を終了し受話器を置くと同時に自動切り換えに復帰します。
 - b. 呼び出し動作のみのとき
 - ➡インターホン入力によりカメラ選択し、約60秒後に自動切り換えに復帰します。
3. タイムラプスVTRの使用のとき
 - ➡インターホン/センサー入力によりカメラ選択し、その後自動切り換えに復帰します。

システム接続例

タイムラプスVTRと組み合わせる場合

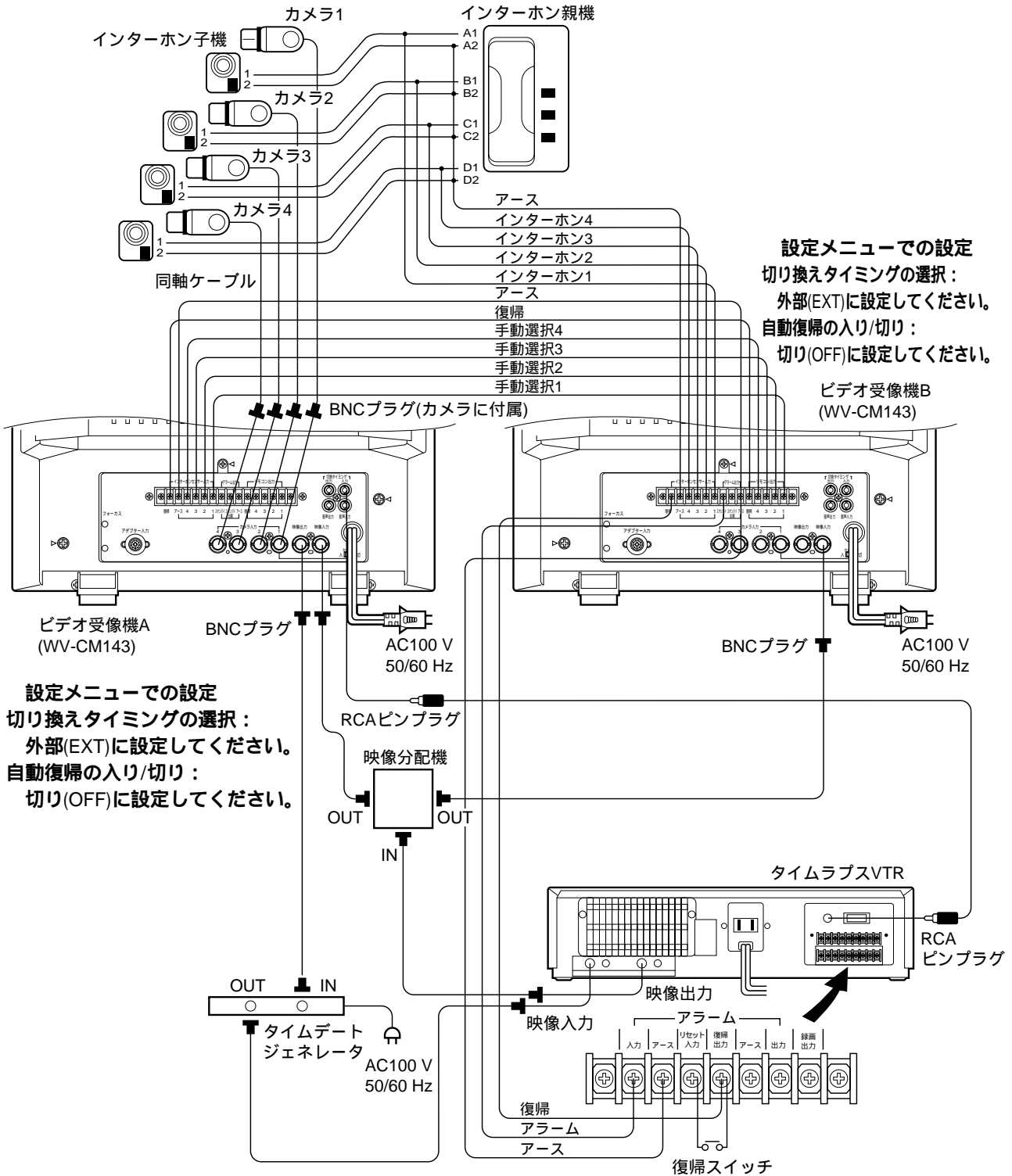


重要

1. タイムラプスVTRと組み合わせ、さらに外部ブザーなどのアラーム出力を出すときは、タイムラプスVTRのアラーム出力を使用してください。
くわしくは、タイムラプスVTRの取扱説明書を参照ください。
2. タイムラプスVTRの録音については記録不可能な場合があります。くわしくは、タイムラプスVTRの取扱説明書を参照ください。

システム接続例

ビデオ受像機を遠隔操作する場合



重要

1. タイムデートジェネレータは入れなくてもかまいません。
2. タイムラプスVTRと組み合わせ、さらに外部ブザーなどのアラーム出力を出すときは、タイムラプスVTRのアラーム出力を使用してください。くわしくは、タイムラプスVTRの取扱説明書を参照ください。
3. 映像切り換えスイッチ（ビデオ受像機前面）の位置は次の通り決定します。

VTRの モード	スイッチの位置	
	ビデオ受像機A	ビデオ受像機B
録画	カメラ	外部入力
再生	外部入力	外部入力

4. ビデオ受像機Bへのカメラの接続はできません。
5. ビデオ受像機Aからはビデオ受像機Bを自動切り換えモードに復帰させることはできません。
6. タイムラプスVTRへの録音については、記録不可能な場合があります。
くわしくは、タイムラプスVTRの取扱説明書を参照ください。

メモ

A series of horizontal dashed lines for writing notes.



A series of horizontal dashed lines for writing, spaced evenly down the page.

定格

電 源 : AC100 V 50/60 Hz
消 費 電 力 : 約95 W (カメラ4台使用時)
C R T : 90° 偏向 14形対角
画 面 サ イ ズ : 280.8(H) × 210.6(V) mm
カ メ ラ 入 力 *1 : VS1.0 V[p-p]/75 × 4 (BNC接栓)
カメラ入力 : カラーテルックカメラまたは多重
VD(VD2)同期付きカメラ *2
カメラ入力2~4 : カラーテルックカメラ専用
映 像 入 力 : VS1.0 V[p-p]/75 × 1 (BNC接栓)
映 像 出 力 : VS1.0 V[p-p]/75 × 1 (BNC接栓)
カメラ電源供給方式 : 定電流重畳伝送方式
映 像 切 換 : 自動/手動切換
自動切換時間 : 約1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 15, 20,
25, 30秒 (設定メニューで選択可能)
スキップ機能 : オートスキップ
自動復帰機能 : センサー入力後約60秒で自動切換に復帰
(設定メニューで自動復帰ON/OFF選択可能)
解 像 度 : 370本以上 (水平、中心部にて)
偏 向 直 線 性
水平 : 5 % 以下
垂直 : 5 % 以下
偏 向 ひ ず み : 2 % 以下

水平走査周波数 : 15.734 kHz
垂直走査周波数 : 59.94 Hz
音 声 入 力 : - 8 dB/Hi-Z (ピンジャック)
音 声 出 力 : - 10 dB/100 (ピンジャック)
スピーカ出力 : 1.0 W
インターホンセンサー入力 : 4回路 (1回路/1カメラ)
無電圧メイク接点 (DC12 V未満)
アラーム出力
スタンバイ/出画時出力 : 1回路 オープンコレクタ(DC24 V 100 mA未満)
スタンバイ時出力 : 1回路 オープンコレクタ(DC24 V 100 mA未満)
アラーム時間 : 約1, 5, 10, 20, 30, 40, 50, 60秒
(設定メニューで選択可能)
増設アダプター入力 : 12ピンコネクター
カメラ延長距離 : 最大500 m (5C-2V使用時)
周 囲 温 度 : - 10 ~ + 50
寸 法 : 370(幅) × 354(高さ) × 389(奥行) mm
質 量 (重量) : 約11 kg
仕 上 げ
エスカッション : AVアイボリー色樹脂製
(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)
カ パー : AVアイボリー色樹脂製
(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

*1 カメラ入力に専用カメラ以外を接続すると、一部機能が正常に動作しません。

*2 多重VD(VD2)同期付きカメラは、カメラ電源スイッチを「切」にしたときだけ接続できます。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は...

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理窓口」へ!

保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのと、大切に保管してください。

保証期間 : お買い上げ日から1年間

修理を依頼されるとき

22ページの内容に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 い 上 げ 年 月 日	年	月	日	品 番	WV-CM143
販 売 店 名	電 話 () -				

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

N0895-4077

V8QA4089EN